

若者 Box 席

海外旅行に行く夢と英語

沼田 拓海 16歳

(高校生 加古川市)

私が普段考えていることは、海外旅行についてです。私は、海外旅行に行つて外国の人としゃべり、観光をするのが小さい頃からの夢でした。

しかし勉強がすごく嫌いで、自分の学校での成績を見て、ネーティブの発音で海外の人と親しく話すのには2、3年はかかるだろうと感じました。英会話の授業を担当していたら先生方に「カタコトでも間違いまくりでも、取りあえずネーティブっぽく話すことを意識していきなさい」と言われ、形からだけでもいいから入つてみるこの大切さを知りました。

そこから私は、英語を使う場面ではいつも「英語できる風」に話し、使う場面でもなくても、日常で起きた出来事や、いつも感じているような何気ないことを、英語ではどのように表現するのだろうといちいち考えるようになりました。これに効果があるのかは分からないけれど、できないなりにもやれることをやろうと思いました。